

平和の大切さを 未来へ受け継ぐ

久留米市は昭和59年に核兵器廃絶平和都市を宣言しました。戦後70年以上が経過した今、戦争や核兵器の恐ろしさや悲惨さを風化させないよう、「くるめ愛と平和の祭典・ピースフルくるめ」を開催しています。今年の主な催しを紹介。入場は無料です。

◎総務課

(☎0942・30・9052、FAX 0942・30・9706)

PEACEFUL KURUME 2019



サンライフ久留米

「久留米空襲を語り継ぐ会」学習会

■日時 7月13日(日) 14時～16時 ■大会議室 ■内容 久留米空襲体験者の講話、久留米空襲を伝える学校の取り組み紹介など

◎久留米空襲を語り継ぐ会事務局の福田さん

(☎0942・32・2783、FAX 0942・30・7971)

えーるピア久留米

講演 女性と戦争を考える「平和な社会を未来へ」

■日時 8月2日(金) 14時～16時 ■210・211 研修室

■内容 異なる環境にあった女性たちから戦争の体験談を聞いて意見交換

◎男女平等推進センター

(☎0942・30・7800、FAX 0942・30・7811)

親と子の平和学習会

■日時 8月17日(日) 13時30分～15時30分 ■視聴覚ホール

■内容 船越小学校6年生・明星中学校生徒の発表、大刀洗空襲を語りつぐ会事務局石川由美子さんと体験者廣瀬益子さんの講演。託児・手話通訳の申込締切は8月9日(金)

◎筑後地区平和を守る女性の会の堀田さん

(☎FAX 0942・21・7254)

中央図書館

おはなしばさらか

■日時 7月14日(日) 13時30分～15時 ■3階会議室

■内容 大型絵本の読み聞かせ、パネルシアター、人形劇など

ピースフル久商

■日時 7月20日(日) 11時～11時40分 ■3階会議室

■内容 久留米商業高校生徒による平和をテーマにした大型紙芝居、ゲームなど

平和ビデオ上映会

■日時 8月1日(木) 14時～15時45分 ■3階視聴覚ホール

■内容 1985年日本映画「白い町ヒロシマ」

◎中央図書館

(☎0942・38・7116、FAX 0942・38・7183)

久留米シティプラザ

平和を語る夕べ

■日時 8月10日(日) 13時～ ■久留米座 ■内容 劇団諸

平屋の平和劇や、市平和合唱団の歌と朗読、バンド・未来座のコンサートなど。平和作品やメッセージなどの展示あり

◎平和を語る夕べ実行委員会の小田さん(市教育会館内、

☎0942・33・1476、FAX 0942・33・1479)

一番街多目的ギャラリー

核兵器のない未来のための原爆展

■日時 7月17日(木)から21日(日)までの10時～18時

■内容 広島・長崎の被爆写真や関連図書などを展示

◎原水爆禁止久留米市協議会の山田さん

(☎FAX 0942・26・7253)

本庁舎

平和資料展

■日時 8月6日(火)から16日(金)まで ■2階ホワイエ

■内容 広島・長崎の被爆写真など

◎総務課 (☎0942・30・9052、FAX 0942・30・9706)

アジアからうどん打ち体験に 久留米くるくるチケット観光客に大人気



初めての道具も上手に使いこなしていました

久留米くるくるチケットの体験メニュー「うどん打ち体験」が、海外からの観光客に大人気です。たけ屋(津福本町)では、マカオ、香港からやってきた観光客が、お店の人からうどん作りの手ほどきを受けました。

香港から4人で旅行にきたサムソン・サムさん家族は、踏みこねる、伸ばす、切る、食べるを体験。「香港でも日本のうどんを食べていますが、自分で作ったうどんは、特別に美味しい。It's funny (おもしろい)と大満足していました。」

学生も運営側に 災害ボランティアセンター 設置運営訓練

6月16日、久留米大学で災害ボランティアセンターの設置運営訓練が行われました。久留米市社会福祉協議会が主催のこの訓練では、学生も運営に関わりました。

豪雨の被災地でのボランティア経験もある久留米大学の心情に寄り添いながらも、支援の優先順位を整理する難しさを感じた」と話していました。



被災者役から被害状況と要望を聞き取る訓練

市政の動き

久重作の人形2体 ばね遺産に認定

「かじくり儀右衛門」の愛称で親しまれる久留米市出身の発明家、田中久重が制作したからくり人形2体が、ばねの技術や業界の進歩に大きく貢献した機器や文献が対象の「ばね遺産」に認定されました。

認定されたのは「弓曳き童子」と「文字書き人形」。どちらもぜんまいばねを動力としたからくり人形です。認定した日本ばね学会は「今日の機械やロボット機構につながる技術であり、ばね技術を伝える貴重な歴史的遺産」と高く評価しました。

◎文化財保護課 (☎0942・30・9323、FAX 0942・30・9714)



「寿」「松」「竹」「梅」の4文字を書く文字書き人形

安武三反野遺跡から 甕棺墓22基が出土

「安武三反野遺跡」の発掘調査で、弥生時代の甕棺墓22基が出土。6月15日に約100人の地元住民などを招いて現地説明会を行いました。

甕棺墓は九州北部で多く行われていた埋葬方式で、今回の調査では、成人用の高さ1mほどの物や、乳幼児を埋葬したとされる50～60cmほどの物などが出土しました。

甕棺墓の他にも、石棺墓や穴を掘っただけの土壇墓とみられる穴なども発見されました。北側に隣接する塚畑遺跡にあった集落の住民が作った墓地だったのではないかと考えられます。

◎文化財保護課 (☎0942・30・9225、FAX 0942・30・9714)



地元住民の皆さんは出土した甕棺墓を間近に説明を聞きました